

平成 17 事業年度の業務実績に関する評価結果（たたき台）についての意見と修正点

区分	「たたき台」に対する意見	修正した内容
全体の構成に関すること	<p>全体評価及び大項目評価の各評価において、「評価結果と判断理由」及び「評価に際しての意見・指摘」がポイントであることが明確になるよう、構成を検討すべき。</p> <p>各大項目評価にある「事務局において確認した事項」の名称では内容が分かりにくい。</p>	<p>各評価における構成を下記のとおり修正。</p> <p>各大項目評価にある「事務局において確認した事項」の名称を「国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」の実施状況」に修正（6・9・10・12 ページ）。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「たたき台」の各評価の構成</p> <p>< 評価結果と判断理由 > (1) 評価にあたって考慮した「特筆すべき事項」 (2) 事務局において確認した事項 < 委員からの指摘事項 > (参考) 小項目評価の集計結果</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">▶</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「素案」の各評価の構成</p> <p>(1) 評価結果と判断理由 < 大項目評価にあたって考慮した事項 > 特筆すべき小項目評価 国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」の実施状況 (参考) 小項目評価の集計結果 (2) 評価にあたっての意見、指摘等</p> </div> </div> </div>
「1. 年度評価の考え方」について	<p>文章だけでは、何が書かれてあるのか分かりにくい。見出しをつけてはどうか。</p>	<p>1 ページの一つめの で、「基本方針」、「評価方法」、「教育に関する項目の取扱い」の3つの見出しをつけた。</p>
「2. 全体評価」について	<p>大項目評価と同様に、評価結果を図示してはどうか。</p>	<p>2 ページの「(1) 評価結果と判断理由」の枠内に、全体評価の考え方や結果を図示したものを挿入。</p>
	<p>中期目標期間終了時の評価では、法人化前と比較して、あるいは、法人化したことによってどのように改善されたか？が問われる。基本的指標について、ベースラインとなる法人化前との比較ができるよう整理しておく必要があるのではないか。</p>	<p>4 ページの「(2) 評価にあたっての意見、指摘等」に次の意見を追加。</p> <p>「中期目標期間終了時の評価では、法人化による効果が問われることから、基本的な指標について、ベースラインとなる法人化前からどのように推移しているのか、毎年度フォローすることが重要である。」</p>
	<p>法人化により、コストの低減、教育研究の充実、府民生活や府民経済への貢献が図られるのか？ということが府民の最大の関心事。こうした成果を府民に理解してもらうことが重要。府立大としてめざすべき方向、教育研究や地域貢献の成果を分かりやすく府民に示すべきではないか。</p> <p>教育研究の分野においても、分かりやすい指標の設定が必要。研究業績に対する受賞などのアピール度の高い目標設定ができないか。</p>	<p>4 ページの「(2) 評価にあたっての意見、指摘等」に次の意見を追加。</p> <p>「大学全入時代を迎え、大学間競争が激化する中、今後、大阪府立大学の特色やステイタスをアピールすることが重要であり、広くアピールできる情報を分かりやすく、積極的に発信する必要がある。」</p>
「3 - 5. 『大学の教育研究等の質の向上』に関する大項目評価」について	<p>評価結果を見て、法人化に伴う新たな取り組みの進捗状況だけが評価されているのではないかと、法人運営の面だけが評価されているのではないかと、という印象を受けるので、「本来の大学のミッションである教育研究が疎かになっていないこと」を明記しておくべきではないか。</p>	<p>14 ページの「(1) 進捗状況の確認結果」の一つめの で、下線部を挿入</p> <p>「大学の教育研究等の質の向上」に関する 129 の小項目について、進捗状況をチェックしたところ、<u>教育、研究及び社会貢献のいずれの分野においても、全体的に計画どおり進捗しており、教育研究活動が着実に進められるとともに、その質的向上が図られていることを確認した。</u></p>